

## 福島県災害支援プロジェクト概要

### 1. 運営組織

#### ○ 発起人

- 代表 大橋靖雄（東京大学教授・NPO法人日本臨床研究支援ユニット理事長）  
（以下、あいうえお順）
- 石井苗子（聖路加看護大学看護実践開発研究センター 客員研究員）
- 井部俊子（聖路加看護大学 学長）
- 八重ゆかり（聖路加看護大学看護実践開発研究センター 専任研究員）
- 山田雅子（聖路加看護大学看護実践開発研究センター センター長）

#### ○ 支援組織 「プロジェクト きぼうときずな」 (<http://kiboutokizuna.jp/>)

聖路加看護大学「福島県災害支援プロジェクト」については、NPO 法人日本臨床研究支援ユニット（以下、NPO 法人）の「プロジェクト きぼうときずな」が支援します。この支援組織は、NPO 法人のスタッフおよび「プロジェクト きぼうときずな」の趣旨に賛同したボランティアからなる実行委員で構成されます。

#### ○ 現地調整機関

- 福島県精神保健福祉センター（畑哲信センター長）
- 福島県立医科大学 神経精神医学講座（丹羽真一教授）

当初は主に上記機関の調整のもと、受入れ施設を決定します。その後は、関係者との協議のもとに、他の受入れ施設も検討します。

#### ○ 福島県災害支援プロジェクト 看護師募集窓口

- 聖路加看護大学 看護実践開発研究センター

### 2. 看護師募集方法

- 聖路加看護大学 看護実践開発研究センターにて参加看護職の募集を行い、NPO 法人にて、スケジュール調整を行った後、現地受け入れ施設の計画にそって看護活動をしていただきます（1回の派遣期間は1週間を原則としますが、参加者の希望を考慮いたします）。

### 3. 看護師の派遣

#### ・参加条件

本学看護教員、看護師資格を有する大学院生、聖路加看護大学同窓生 ほか。

#### ・派遣地域

当面は相馬市、いわき市を予定していますが、福島県内全域を活動範囲として想定しています。

#### ・放射線被ばくについて

支援を行う地域は、福島第1原子力発電所から30-50km圏内に一部入っている地域を含むことをご承知いただく必要があります。放射線被ばくに伴う危険性については、添付資料①～③を参考にしてください。

<以下をプロジェクトとして準備します。派遣される看護師の負担にはなりません。>

- ・現地までの交通手段（新幹線または特急列車での移動を手配します。）
- ・現地での移動手段（活動用の車と運転手を用意します。）
- ・宿泊（ホテル等での宿泊先を確保します。）

以上